



はじめての”萌え”
モハメド・アリヨシ

はじめての”萌え”

はじめは社内SNS。

パブのディレクターさんからこんな提案が。

サブカル漫画の双璧とも言える、萌え漫画・ボーイズラブ。

皆さん、是非、自分で作品を描いてみませんか？

萌え漫画もボーイズラブも読んだことがないという方、大歓迎です。

心の奥に眠った履き違えた妄想を、思うさまぶつけてください。

なんとなく面白そう、なんとなく描ける気がする、なんとなく興味ある気がする、
そんな、なんとなく浅はかな気持ちで、なんとなく押した参加ボタン。

おっさんの絵くらいしか描けないわたしが、果たして”萌え”漫画なんて描けるのだろうか...



参考：おっさんの絵

”萌え”を目指して描いてみる



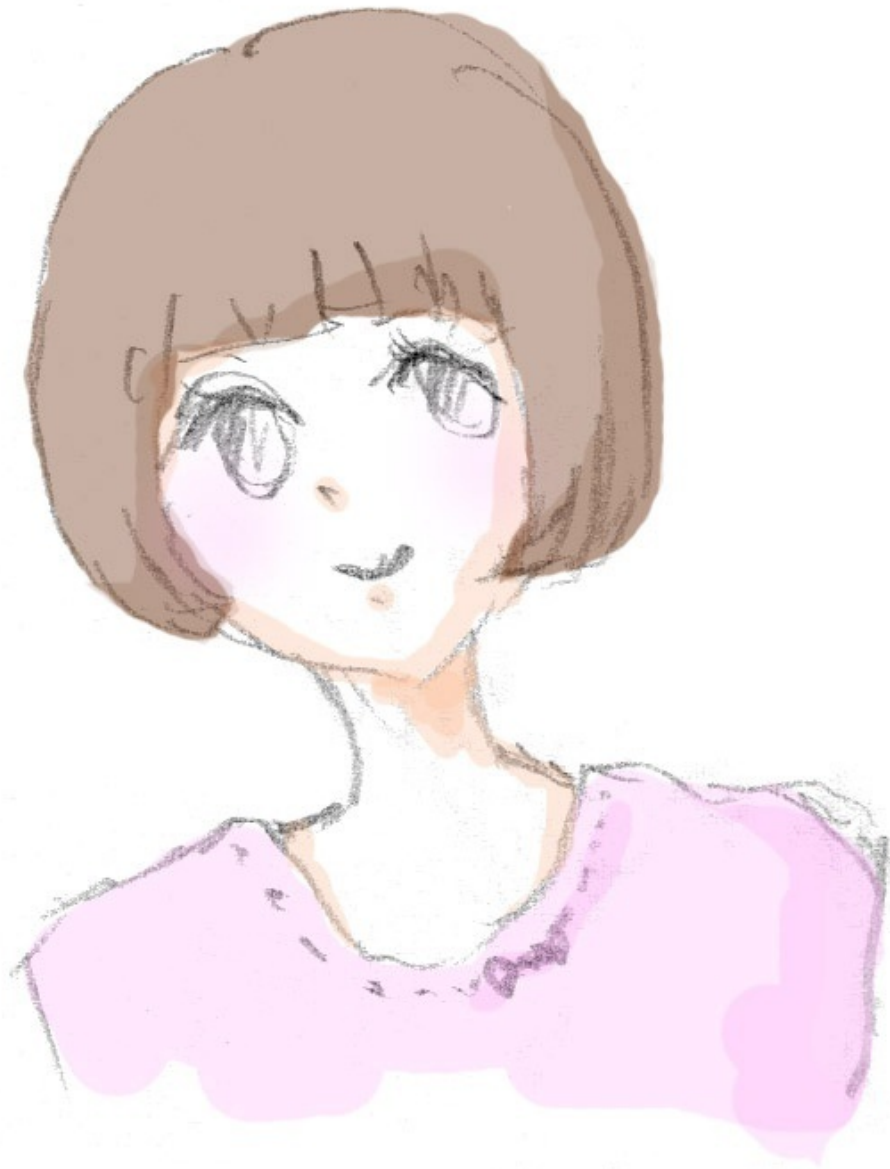
やべー意外と描けた。

でもやっぱりまだカジュアルイラストっぽいです。”萌え”では無い感。



普通の少女漫画になった。りぼんとかに出て来そうなタイプの。

セーラ服＝”萌え”という、”萌え”初心者にありがちであろう思考が全米の涙を誘う。（同情の）



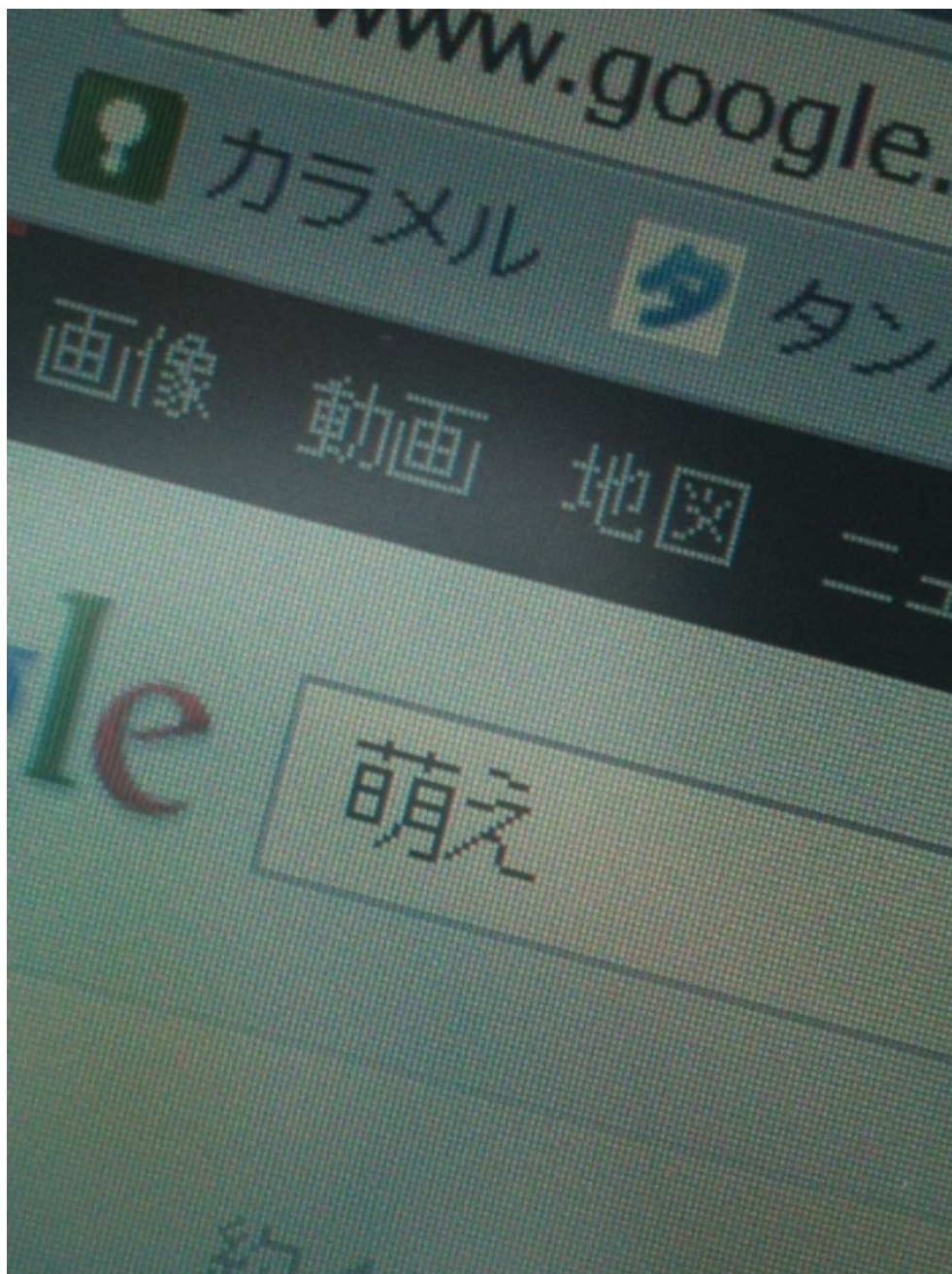
意図せず年齢が上がった！

顔の年齢をコントロールするのは難しい。

意図せず年齢上げられたりして、イラストって可哀想だなって思った。

”萌え”に対する知識を深める

人生に於いて一番大切なことは、**ググる**という行為。



”萌え”要素を加えてみる



おおやはり。メイドは”萌え”の王道！

メイド服を着せるだけでなんか”萌え”っぽくなった。

ちなみに今のところ、どのような思い出「おしり感」というメモをしたのか全く思い出せない。



もはや”萌え”とかどうでも良くて、

「肩」という漢字が書けなかったことが衝撃。

でも3度目でちゃんと書けたから、まだ生きてて大丈夫そう。

ずっとキレてれば
いいんじゃないか?



いいわけが無い。

これは”萌え”初心者の暴言である。ずっとキレていたらツンデレでも何でも無い。

ただの性格の悪い人である。

そう言えば「ティーカッププードル」って”萌え”る



ということで、**ティーカップ**に入れてみた。
南君の恋人か。







”萌え”に疲れたら

切れてしまった集中力をもういちど繋げるのは、至難のわざ。

こういう時は、藤子・F・不二雄先生の作品（借り物）を心行くまで眺めるのが吉。



「ジャイアンって実は情緒不安定な可哀想な小学生なんじゃないかな。」
など、色々思っていたらね...

ハッ...!!!!!!!



やるっきゃない！

わたし、"萌え"とちゃんと向き合うっきゃない！

ありがとう先生、ありがとうジャイアン！ありがとう3秒後に殴られるであろうスネ夫！！

”萌え”をストーリーにしてみる



こんにちは。

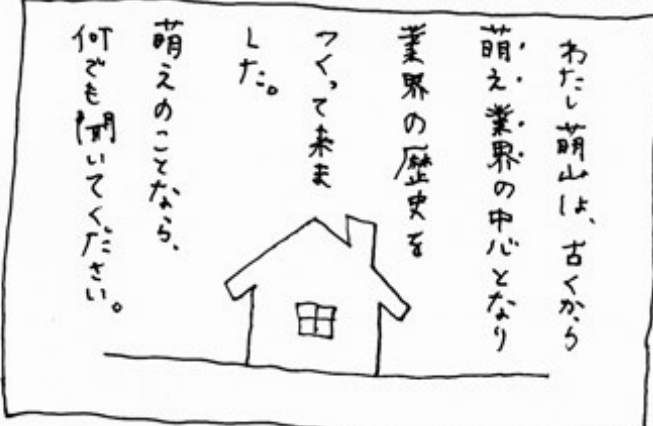
モエ葉まきこ
サ明山マ明子と申します。



わたしは今、モハメドと言おう、
おさんの絵くさいし描いたこと
ない人間から、

モハメドはモハメド、適当に
つくられ愛しています。

モハメドナリマ
(23)の茶



わたしサ明山は、古くから

サ明え業界の中心となり

業界の歴史を

つくって来ま

した。

サ明えのことなら、

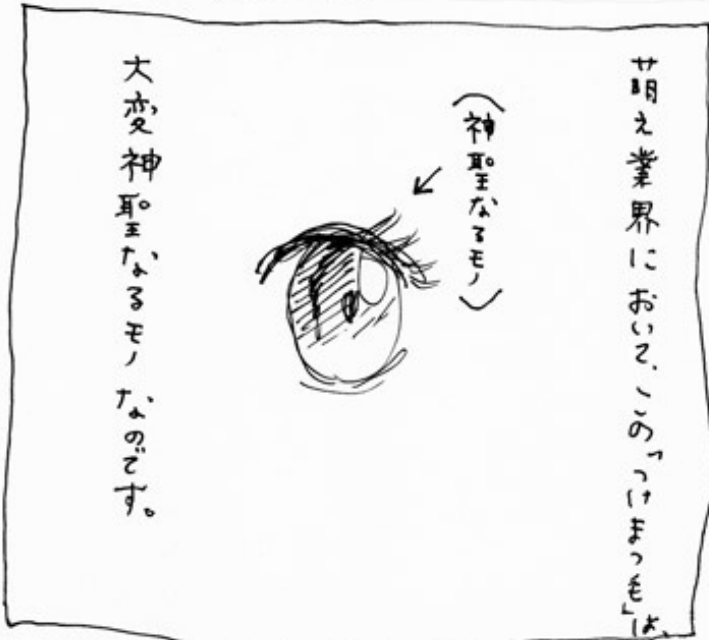
何でも聞いてください。



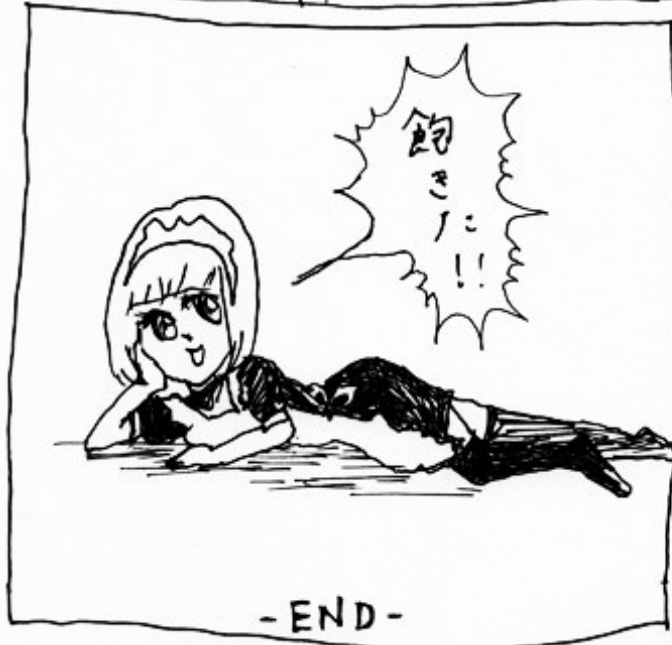
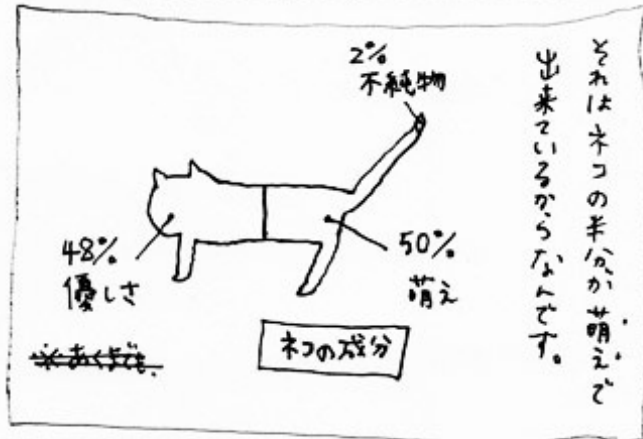
比自様の世界では、ぼうしをかぶって
いる際、あいさつするクイミンクで、
ぼうしを外しますよね？

ペコッ

どうも







はじめての”萌え”

<http://p.booklog.jp/book/43433>

著者：モハメド・アリヨシ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/mohariyoshi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/43433>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/43433>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.